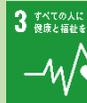


# 高校生が園芸福祉の知識を生かして 認知症カフェ「ふる～るカフェ」を運営

園芸を通して交流する認知症カフェ「ふる～るカフェ」を生徒主体で運営しています。



## 静岡県立田方農業高等学校 ライフデザイン科セラピーコース

所在地：田方郡函南町塚本961  
ホームページアドレス

<http://www.edu.pref.shizuoka.jp/tagata-ah/home.nsf>

メールアドレス [tagata-ah@edu.pref.shizuoka.jp](mailto:tagata-ah@edu.pref.shizuoka.jp)

企画・運営、会場提供（校内の実習農場や教室）

学校

## 函南町地域包括支援センター

所在地：田方郡函南町平井  
ホームページアドレス

<http://www.kannami-syakyo.jp/publics/index/65/>

TEL：055-978-1700

参加者募集、運営支援、専門的なアドバイス

行政

「認知症カフェ」は、地域の中で、認知症の方やその家族が地域住民や専門家などと交流しながら安心して過ごせる居場所です。生徒が企画・運営、教員が連携調整、高校が会場提供、函南町地域包括支援センターが参加者募集や専門的アドバイスを行っています。

### 園芸福祉の知識を活かした認知症カフェ

静岡県立田方農業高等学校ライフデザイン科セラピーコースでは、植物を活用する福祉活動（園芸福祉）を学んでいます。生徒達は、福祉交流活動の一環で特別支援学校や障害者支援施設に出向き、季節の花の寄せ植え体験等を年間30回行っています。函南町地域包括支援センターは、看護師や社会福祉士等の専門的知識を持つ職員が、介護など高齢者に関する相談対応や認知症サポーターの養成等を行っています。

2018年、授業の一環で「認知症サポーター養成講座」を受講したセラピーコースの生徒が、函南町内に認知症カフェが少ないことを知り、生徒有志で「何か活動できないか」と考えました。

そこで、学校と函南町地域包括支援センターが連携し、高校の施設を活用した、園芸を楽しみながら交流できる「認知症カフェ」を開催することとしました。花を通して元気になってほしいとの思いから、仏語の「花」を語源に「ふる～るカフェ」と名付けました。

### 生徒のアイデアいっぱいのカフェ

「ふる～るカフェ」は、田方農業高等学校が校内の実習農場や教室を会場として提供し、教員が函南町地域包括支援センターと連携調整、セラピーコース3年生を中心とする生徒有志が企画・運営しています。開催前には青森県立五所川原農林高等学校の認知症カフェ

を先進事例として視察し、運営を学びました。

函南町地域包括支援センターは、カフェへの参加者募集、運営支援、専門的なアドバイスを担っています。

「ふる～るカフェ」は、初開催の2019年1月から2021年12月までに延べ22回開催され、認知症の方とその家族10人程度が参加しています。プログラムは生徒自身が考え、高床式花壇での花やハーブの植付け・収穫、押し花しおり等の園芸クラフト、農場で収穫した大根を使ったパンケーキづくりなどを行っています。

### 認知症の方の笑顔と、生徒のキャリアデザイン

認知症の方が「ふる～るカフェ」に参加するうちに笑顔が増えたり、元気になったりなど、良い変化がみられるようになりました。また、家族の息抜きの場にもなっています。

生徒は、カフェの運営を通して認知症の方への接し方も向上し、理解を深めています。普通の授業では得られない実践力や企画力も身に付き、卒業後のキャリアを考えるきっかけにもなっています。運営メンバーは、当初セラピーコース3年生が中心でしたが、現在では同科の1・2年生も参加しており、先輩から後輩に活動が引き継がれています。校内でも関心が高まり、福祉・看護分野に関心のある他科の生徒もボランティアに参加しており、現在は生徒有志約10人で運営しています。

Point

函南町内で園芸福祉を学ぶ高校と介護・認知症予防等の専門機関が、それぞれの強みを活かして協働することによって、認知症の方とご家族が、家にこもらず外に出るきっかけづくりとなるような「認知症カフェ」が生まれました。

### これからの展望

今後も「ふる～るカフェ」を継続開催できる運営体制をつくりながら、園芸を通して認知症の方やその家族が楽しく過ごせる場づくりを行っていきます。より多くの方に、認知症や「認知症カフェ」について知っていただけるようにしたいと考えています。

